

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

桜の次は私だと、つつじがいっぱい広がって街を彩る。新入生や進級した子供たちが、公園で歓声を響かせる春本番。なのに日本中の不安は払拭されないままだ。

和草^{にこくさ} ～にっこり微笑んで～

生えたばかりのやわらかい草や、葉や茎のやわらかい部分を「和草」といいます。「和し」は、やわらかいとか、細かいという意味。「柔」という字を当てたりもします。

～^{あしかさ}葦垣の 中の和草 にこやかに

我と笑まて 人に知らゆな ～

(万葉集・よみ人しらず)

(和草のように、にこやかに私に微笑みかけた如て、二人の仲が、ほかの人にばれないようにね)

「にこにこ」「にっこり」などの擬態語も、ここからきているようです。英語の3倍はあるという日本の擬音語や擬態語は、外国人泣かせだとか。

でも、私たちには微妙なニュアンスの違いがわかりますね。日本人として受け継いできた、言葉の感覚の奥深さを感じます。

(山下景子「美人の日本語」より)

自転車保険 加入義務 ですよ

ご存じのように、4月1日から自転車保険の加入が千葉市でも義務化されました。自転車をご利用の方、保険には入っていますか？安全運転は心得ているとは存じますが、自転車の通行については、歩行中に被害者になるばかりでなく、運転していて加害者になることもあるのです。その場合、補償・賠償額が数千万円になる事故も実際に起こっています。館内にチラシも置いてありますのでご覧ください。詳しくは千葉市地域安全課へお問い合わせください。

語らう

受付時刻より早く到着した利用者の方のお話を伺うことがよくあります。私にとってその時間は、とても心地よいものです。人生の大先輩のお話は、新しい発見や気づきがあります。ご指摘にはっとさせられることもあります。昭和の風景が目に見えびますし、その語り口に故郷・長崎の両親に重ね合わせて、じっと聞かせてもらっています。

皆さん、嬉々としておしゃべりされます。それは



令和3年度 第2号
令和3年4月26日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

元気の源なのでしょう。そしてそれぞれに運動して、またおしゃべりする。今、この時世だからこそ、語ることが大切だと思っています。運動や趣味に無理なく時間を費やすことは、人として当然の欲求であるし喜びでしょう。マスクをつけながらのひそひそ会話かもしれません、公民館が身の上話を語らう場になればとも思っています。そしていつか、顔を寄せ合って大きな声で笑いあえる日が来ることを願っています。語らうときのお顔は、皆さん健康的で、美しいですね。

動き出す

年度が替わり、また暖かくなり、新宿公民館のクラブ・サークル活動が動き出しました。昨年度はコロナウイルス感染予防のため、やむを得ず活動を中止したり休止したりした団体もあったように聞いています。まだまだ飲食を伴う活動はできませんし、活動人数を制限し、飛沫防止対策をとってもらうこと、また夜間の利用は午後8時までの制限は継続されることになりました。

まだまだ元の姿に戻るには時間がかかりますが、活動するためにそれぞれの約束事を守りながら、そしてできる工夫をしながら動き出してほしいです。くれぐれも体調の観察は怠りなく、無理のないようにお願いします。

「まん延防止等重点措置」は

いったいいつになったら、収束への道が見えてくるのでしょうか。全国で、特に関西方面では再々拡大しています。「新型コロナ」だったはずなのに、「変異型」が主流になりつつあり、英国型、南アフリカ型など4種類の型があるとの報道です。どこまで広がっていくのか。「新々型」「続型」まで出て来やしないかと、うんざりします。千葉県でも東京寄りの自治体には一段階上の規制が入りました。そして千葉市も、やはり……。気をもむ時間が続きます。

テレビでの解説を聞く限り、人流がポイントのようです。ゴールデンウィークに向けて人が動くことは避けられないでしょう。正しく恐れて正しく予防する

ことは欠かせません。自分の命を守りながら、他の人の命も守る行動を、これからも続けていきましょう。どうぞご自愛ください。
(館長 迎 浩二)

